

【届出・チェックシート等の記入例】

記入例

(1) 建築物・工作物の新築の場合

第1号様式 (第3条関係)

景観計画区域内における行為の届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

奈良県知事 殿

届出者 住所 〇〇市〇〇町〇〇番地
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 0742-22-〇〇〇〇

景観法第16条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

一敷地に複数の行為がある場合は、各該当項目部分に記載

一敷地に2以上存する場合は、記入枠を増やすか別紙に記載

行為の場所	〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地				
行為の場所に係る区域	<input checked="" type="checkbox"/> 一般区域 (用途地域: 第1種住居地域)) <input type="checkbox"/> 第1種特定区域 <input type="checkbox"/> 第2種特定区域 <input type="checkbox"/> 広域幹線沿道区域				
行為の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更		届出部分	既存部分	合計
		建築面積	1,500.00㎡	㎡	1,500.00㎡
		高さ	15.00m	m	15.00m
		外観変更面積	㎡	㎡	㎡
	<input checked="" type="checkbox"/> 工作物 <input checked="" type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更	工作物の種類	①鉄塔、②コンクリートプラント		
			届出部分	既存部分	合計
		築造面積	工作物①40.00㎡ 工作物②250.00㎡	㎡	工作物①40.00㎡ 工作物②250.00㎡
		高さ	工作物①19.32m 工作物②20.00m	m	工作物①19.32m 工作物②20.00m
	<input type="checkbox"/> 開発行為 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更 <input type="checkbox"/> 土地の開墾 <input type="checkbox"/> 土石の採取 <input type="checkbox"/> 鉱物の掘採 <input type="checkbox"/> その他	目的			
		面積	㎡		
		のり面又は擁壁	高さ	m	
			長さ	m	
<input type="checkbox"/> 物件の堆積 <input type="checkbox"/> 土石 <input type="checkbox"/> 廃棄物 <input type="checkbox"/> 再生資源 <input type="checkbox"/> その他	目的				
	面積	㎡	堆積の高さ	m	
	堆積の期間	年 月 日 ~ 年 月 日			
代理者	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 〇〇設計事務所 〇〇 〇〇	電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇			
設計者	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 〇〇設計事務所 〇〇 〇〇	電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇			
工事施工者	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 (株)〇〇建設 〇〇 〇〇	電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇			
予定工期	(着工) 〇〇年 〇月 〇日 ~ (完了) 〇〇年 〇月 〇日				

- 備考 1 法人その他の団体にあつては、その名称、主たる事業所の所在地及び代表者の氏名を記入して下さい。
 2 該当する□内に、レ印を付してください。
 3 行為の種類に応じて、別紙1から3までのいずれかを記入し併せて提出してください。

景観計画区域内における行為の変更届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

奈良県知事 殿

届出者 住所 〇〇市〇〇町〇〇番地
 氏名 〇〇 株式会社
 代表取締役 〇〇 〇〇
 電話番号 0742-22-〇〇〇〇

景観法第16条第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

行為の場所		〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地			
当初届出年月日及び番号		〇〇年〇〇月〇〇日 第〇〇号			
		変更前	変更後		
行為の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更	建築面積	1,500.00 m ²	1,600.00 m ²	
		高さ	15.00 m	20.25 m	
		外観変更面積	m ²	m ²	
	<input checked="" type="checkbox"/> 工作物 <input checked="" type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更	工作物の種類	コンクリートプラント		
		築造面積	250.00 m ²	260.00 m ²	
		高さ	20.00 m	25.00 m	
		外観変更面積	m ²	m ²	
	<input type="checkbox"/> 開発行為 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更 <input type="checkbox"/> 土地の開墾 <input type="checkbox"/> 土石の採取 <input type="checkbox"/> 鉱物の掘採 <input type="checkbox"/> その他	目的			
		面積	m ²	m ²	
		のり面又は擁壁	高さ	m	m
			長さ	m	m
	<input type="checkbox"/> 物件の堆積 <input type="checkbox"/> 土石 <input type="checkbox"/> 廃棄物 <input type="checkbox"/> 再生資源 <input type="checkbox"/> その他	目的			
面積		m ²	m ²		
堆積の高さ		m	m		
堆積の期間					
着工予定日又は完了予定日	着工予定日	〇〇年12月1日	〇〇年12月10日		
	完了予定日	〇〇年3月1日	〇〇年3月30日		
その他の変更事項	変更前		変更後		
	敷地内の緑化面積を変更 変更前は6%		変更後5%		
変更理由	設備機器の変更によりプラントの築造面積が拡大した。				
代理者	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 〇〇設計事務所 〇〇 〇〇	電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇			

当初の届出にならって記載

- 備考
- 1 法人その他の団体にあつては、その名称、主たる事業所の所在地及び代表者の氏名を記入してください。
 - 2 変更後の欄は、変更した事項のみ記入してください。
 - 3 該当する□内に、レ印を付してください。
 - 4 景観計画区域内における行為の届出書に添付した図書のうち、この届出に係る変更に関係があるものに、当該変更の内容を表示して添付してください。
 - 5 行為の種類に応じて、別紙1から3までのいずれかに変更した事項を記入し、併せて提出してください。

景観計画区域内における行為の通知書

〇〇年〇〇月〇〇日

奈良県知事 殿

通知者 住所 〇〇市〇〇町〇〇番地

名称及び代表者の氏名 〇〇市長 〇〇

電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

景観法第16条第5項後段の規定により、次のとおり通知します。

行為の場所	〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地				
行為の場所に係る区域	<input checked="" type="checkbox"/> 一般区域（用途地域：第1種住居地域） <input type="checkbox"/> 第1種特定区域 <input type="checkbox"/> 第2種特定区域 <input type="checkbox"/> 広域幹線沿道区域				
行為の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更		通知部分	既存部分	合計
		建築面積	1,500.00㎡	㎡	1,500.00㎡
		高さ	15.00m	m	15.00m
		外観変更面積	㎡	㎡	㎡
	<input checked="" type="checkbox"/> 工作物 <input checked="" type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更	工作物の種類	①鉄塔、②コンクリートプラント		
			通知部分	既存部分	合計
		築造面積	工作物①40.00㎡ 工作物②250.00㎡	㎡	工作物①40.00㎡ 工作物②250.00㎡
		高さ	工作物①19.32m 工作物②20.00m	m	工作物①19.32m 工作物②20.00m
	<input type="checkbox"/> 開発行為 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更 <input type="checkbox"/> 土地の開墾 <input type="checkbox"/> 土石の採取 <input type="checkbox"/> 鉱物の掘採 <input type="checkbox"/> その他	目的			
		面積	㎡		
		のり面又は擁壁	高さ	m	
			長さ	m	
	<input type="checkbox"/> 物件の堆積 <input type="checkbox"/> 土石 <input type="checkbox"/> 廃棄物 <input type="checkbox"/> 再生資源 <input type="checkbox"/> その他	目的			
		面積	㎡	堆積の高さ	m
堆積の期間		年 月 日 ~ 年 月 日			
設計者	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 〇〇設計事務所 〇〇 〇〇 電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇				
工事施工者	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 (株)〇〇建設 〇〇 〇〇 電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇				
予定工期	(着工) 〇〇年 〇月 〇日 ~ (完了) 〇〇年 〇月 〇日				

一敷地に複数の行為がある場合は、各該当項目部分に記載

一敷地に2以上存する場合は、記入枠を増やすか別紙に記載

備考 1 該当する□内に、レ印を付してください。
 2 行為の種類に応じて、別紙1から3までのいずれかを記入し、併せて提出してください。

建築物概要書

建物用途		共同住宅				
敷地面積		5,678.00 m ²				
		届出部分		既存部分		
構造及び階数		鉄筋コンクリート造 (一部 鉄骨造) 地上 5階 / 地下 1階				
屋外に設置する建築設備の種類		キュービクル 受水槽・高架水槽 エアコン室外機				
道路からの最小の後退距離		3.00 m				
外部仕上	第一立面	屋根	色彩	3PB 3.0/1.0	各立面の面積割合	90 %
			彩色のない部分の素材	天窓のガラス		5 %
			光源等	点滅有無 <input type="checkbox"/> 点滅 <input checked="" type="checkbox"/> 非点滅 設置高さ 13.00 m		5 %
		外壁	色彩	9YR 5.0/3.0 8YR 3.0/2.5 N 6.0	55 % 15 % 5 %	
			彩色のない部分の素材	窓ガラス 御影石	15 % 5 %	
	光源等	点滅有無 <input type="checkbox"/> 点滅 <input checked="" type="checkbox"/> 非点滅 設置高さ 4.25 m	5 %			
	第二立面	屋根	色彩	3PB 3.0/1.0	各立面の面積割合	100 %
			彩色のない部分の素材			%
			光源等	点滅有無 <input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 非点滅 設置高さ m		%
		外壁	色彩	9YR 5.0/2.0 8YR 3.0/1.0 (強調色) 5Y 7.0/8.5	60 % 15 % 5 %	
彩色のない部分の素材			窓ガラス 御影石	15 % 5 %		
光源等	点滅有無 <input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 非点滅	%				

後退距離は原則、1 m 以上

光源面積は外壁面の 1 / 5 以下

自然素材はこの欄に記載

新築の場合は記載不要

屋根、外壁各々の合計が 100 %

色彩基準に適合させる・屋根の強調色使用は不可

外壁面の強調色は 1 / 5 (1 / 10) 以下

		等	設置高さ	m		%	
第三立面	屋根	色彩		3PB 3.0/1.0		95 %	
		彩色のない部分の素材		天窓のガラス		5 %	
		光源等	点滅有無	<input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 非点滅		各立面の面積割合	%
			設置高さ	m			
	外壁	色彩		9YR 5.0/2.0 8YR 3.0/1.0 N 6.0		60 %	
		彩色のない部分の素材		窓ガラス 御影石		15 %	
		光源等	点滅有無	<input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 非点滅		%	
			設置高さ	m			
	第四立面	屋根	色彩		3PB 3.0/1.0		100 %
			彩色のない部分の素材				%
光源等			点滅有無	<input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 非点滅		%	
			設置高さ	m			
外壁		色彩		9YR 5.0/2.0 8YR 3.0/1.0 (強調色) 5Y 7.0/8.5		60 %	
		彩色のない部分の素材		窓ガラス 御影石		15 %	
		光源等	点滅有無	<input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 非点滅		%	
			設置高さ	m			
敷地の緑化	樹木による植栽		高木	10 本	換算面積	70 m² +30 m² +10 m² = 110 m²	
			中木	10 本			
			低木	10 本			
	芝生等による植栽		200 m²				
	緑化の合計面積		310 m²				
緑地率		5.4 %					
門・塀等	構造		コンクリートブロックにリシ吹きつけ				
	高さ		1.2 m				
	色彩		3R 5.5/1.0				

新築の場合は
記載不要

樹木の植栽は原則、中木（1m以上）1本以上を確保

緑化面積は原則、行為地の3%以上を確保

- 備考 1 色彩については、マンセル値（色相・明度・彩度）を記入してください。
2 該当する□内に、レ印を付してください。

工作物概要書

建築物と一体になった場合のみ記載

後退距離は原則、1 m以上

色彩基準に適合させる

工作物の種類		鉄塔					
敷地面積		150.00 m ²					
		届出部分		既存部分			
構造		鉄骨造					
建築物と一体となって設置される場合の地盤面からの高さ		m					
道路からの最小の後退距離		3.00 m					
外 部 仕 上 げ	第一立面	色彩	5YR 2.0/1.0 N 6.0		各立面の面積割合	85 %	
		彩色のない部分の素材	自然石 (花崗岩)			10 %	
		光源等	点滅有無	<input type="checkbox"/> 点滅 <input checked="" type="checkbox"/> 非点滅		3 %	
		設置高さ	3.00 m			2 %	
	第二立面	色彩	5YR 2.0/1.0 N 6.0		各立面の面積割合	90 %	
		彩色のない部分の素材				10 %	
		光源等	点滅有無	<input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 非点滅		%	
		設置高さ	m			%	
	第三立面	色彩	5YR 2.0/1.0 N 6.0 (強調色)5R 7.0/8.0		各立面の面積割合	80 %	
		彩色のない部分の素材				10 %	
		光源等	点滅有無	<input type="checkbox"/> 点滅 <input checked="" type="checkbox"/> 非点滅		5 %	
		設置高さ	3.00 m			5 %	
第四立面	色彩	5YR 2.0/1.0 N 6.0		各立面の面積割合	85 %		
	彩色のない部分の素材				10 %		
	光源等	点滅有無	<input checked="" type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 非点滅		5 %		

新築の場合は記載不要

合計が100 %

外観面の強調色は1/5 (1/10) 以下

光源面積は外観面の1/5以下

樹木の植栽は原則、中木（1 m以上）1本以上を確保

	源等	設置高さ	3.00 m			
敷地の緑化	樹木による植栽	高木	10 本	換算面積	70 m ²	
		中木	本			
		低木	本			
	芝生等による植栽		10 m ²			
緑化の合計面積		80 m ²				
緑地率		53.33 %				
門・塀等	構造		ネットフェンス			
	高さ		1.8 m			
	色彩		N6.0			

緑化面積は原則、行為地の3%以上を確保

- 備考
- 1 色彩については、マンセル値（色相・明度・彩度）を記入してください。
 - 2 該当する□内に、レ印を付してください。

景観法届出のチェックシート

【一般区域】

[建築物]

届出者の氏名	〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇			
行為の場所	〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地			
周辺景観の特	<ul style="list-style-type: none"> ・行為地は、閑静な住宅地にあり、周辺は低層の専用住宅が建ち並んでいる。当該地は公園に隣接し、公園内には高木の樹木が茂っている。また、近隣の住宅はツツジの生垣が多くある。 ・行為地は、国道〇〇号線の沿道沿いにある商業地域で、沿道周辺には商業施設が建ち並んでいる。敷地の背景には共同住宅及び戸建て住宅が建ち並び、工場も点在している。 ・行為地は旧集落に近接した田畑が広がる位置にあり、背景には大和青垣の山並みが見渡せる。近隣の建物は和瓦の入母屋づくりの戸建て住宅が多くある。 			
項目	基準	適用	具体的な配慮又は工夫の内容	※適・否
共通事項	1・景観上重要な山々や丘陵、歴史的な遺産等に対する主要な視点場 ^{※1} からの眺望に配慮すること。	有 ・ 無	・建築物背景にある〇〇山の△△からの眺望に配慮して、配置を工夫し、高さを抑えるため、高架水槽を取りやめ加圧式給水として、屋上突出物を無くした。	適・否
	2・地域の個性を尊重し、地域の景観に与える違和感や雑然さを軽減するよう努め、地域全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有 ・ 無	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の住宅地に配慮して敷地周囲は生垣とした。 ・周辺の歴史的な町並みに配慮して、分棟化により規模を抑えるとともに、伝統的な意匠を随所に取り入れた。 ・会社のC Iである屋上の塔や敷地周囲の工作物などをなくし、アクセントカラーやワンポイントの装飾により雑然さを軽減した。 	適・否
	3・行為地内に複数の建築物、工作物等を設ける場合は、全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有 ・ 無	・倉庫・車庫は、主建築物と合わせた色彩、勾配屋根とし、ゲートなどの工作物もシンプルなものとするので、全体としての調和に配慮した。	適・否
配置、規模及び高さ	1・良好な周辺景観との調和に配慮した配置、規模及び高さとする。	有 ・ 無	<ul style="list-style-type: none"> ・全面道路から壁面を3m後退し、ゆとりある沿道空間を形成した。 ・2棟に分棟して、周辺の街並みから突出しない高さとした。 	適・否
	2・山稜の近傍にあっては、稜線を乱さないよう配慮した配置及び高さとする。	有 ・ 無	・大和青垣の山稜に配慮して、屋上パラペットの高さを抑えることで、建築物全体の高さを抑えた。	適・否
	3・歴史的な街並み等街路景観が整っている地域にあっては、周辺との連続性に配慮した配置とすること。 その他の地域にあっては、原則として、道路の境界線から1m以上後退した配置とすること。	有 ・ 無	<ul style="list-style-type: none"> □歴史的な街並み等（周辺との連続性に配慮した配置） ☑その他の区域（道路の境界線から1m以上後退した配置） ・建築物を道路境界から3m離れた位置として、歩行者への圧迫感を抑えた。 	適・否
	4・行為地の周辺に山林等樹木が多くある場合は、周辺の樹木の高さに配慮した高さとする。	有 ・ 無	・隣接する鎮守の森に配慮して、屋上の階段室の階高を低くして、建築物を目立たないように考慮した。	適・否
	5・行為地内に歴史的な遺構や良好な樹木等がある場合は、これをできる限り保全し、活用すること。	有 ・ 無	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内に古木があったので、敷地内の庭に移設した。 ・大正時代の建築物のファサードの一部を残して活用した。 	適・否
1・良好な周辺景観との調和に配慮した形態及び意匠とするとともに、建築物全体としてバランスのとれた形態及び意匠とすること。	有 ・ 無	<ul style="list-style-type: none"> ・近接する旧集落に配慮して、屋根を和瓦の勾配屋根とするとともに、窓に格子を設けて和風のたたずまいとした。 ・自走式駐車場の2階以上の外壁に目隠しルーバーを設け、主棟との調和に配慮した。 	適・否	

基準の適用が必要な場合は「有」に、適用が必要でない場合は「無」に○をする

後退距離は原則、1m以上

形態及び 意匠	2・歴史的街並みや集落又はこれらの地域及び歴史的な遺産の周辺にあつては、できる限り勾配屋根とすること。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	<input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根とした ・ 周辺集落の和風住宅に合わせて、屋根を4寸勾配の和瓦葺きとした。	適・否
	3・道路等の公共の場所に面する部分は、歩行者等に圧迫感、威圧感を感じさせないよう配慮した形態及び意匠とすること。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・ 道路側は、2階より上部部分の壁面を3mバックさせて圧迫感を軽減させた。	適・否
	4・外壁又は屋上など外部に設ける建築設備 ^{※2} は、原則として、露出させないようにすること。やむを得ず露出させる場合には、建築物本体及び良好な周辺景観との調和に配慮した形態及び意匠とすること。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・ 屋外の受水槽に目隠しの囲いを設けて景観に配慮した。 ・ 電気のキュービクルを屋内に設置して外部に露出しないよう配慮した。	適・否
	5・屋外階段、ベランダ等を設ける場合は、これらを含む建築物全体の調和に配慮すること。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・ 屋外階段にルーバー状の囲いを設けて景観に配慮した。	適・否
	6・外観に光源等の装飾を施す場合は、使用する位置や量等に配慮すること。 商業地域以外の地域にあつては、その光源等が形成する面積が、外観のうち各立面につき、当該立面の面積の5分の1を超えないこと。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	<input type="checkbox"/> 商業地域 (使用する位置や量等に配慮) <input checked="" type="checkbox"/> 商業地域以外の地域 (光源面積は、各立面の面積の1/5以下) ・ 光源による装飾は、1階外壁部分のみとして、景観に配慮した。	適・否
色彩	1・色彩は、別に定める色彩に関する景観形成の基準に適合するとともに、良好な周辺景観との調和に配慮すること。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	<input checked="" type="checkbox"/> 色彩に関する景観形成の基準に適合 ・ 外壁の彩度を落として落ち着いた外見となるよう計画した。	適・否
	2・多くの色彩やアクセント色を使用する場合は、使用する色彩相互の調和、使用する量のバランスに配慮すること。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	<input checked="" type="checkbox"/> 強調色は各立面の面積の1/5(1/10)以下 <input checked="" type="checkbox"/> 建築物等の中低層部で用いるよう配慮 ・ アクセントカラーは1色に抑えて、1階部分のみに使用した。	適・否
素材	1・良好な周辺景観との調和に配慮した素材を使用し、特に反射光のある素材を使用する場合は使用する位置や量等に配慮すること。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・ 屋根に和瓦を用いるとともに腰壁に杉板風のサイディングを張って周辺景観に配慮する外観とした。	適・否
	2・歴史的街並みや集落の整っている地域又はこれらの地域及び歴史的な遺産の周辺にあつては、地域の景観特性を特徴づけている伝統的素材(木、土、漆喰等)の活用に配慮すること。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・ 周辺の旧集落の街並みに配慮して、外壁は漆喰風の仕上げとした。	適・否
緑化	1・行為地が道路に面する部分は、出入口、門、塀等を設置する部分を除き、樹木等により緑化し、かつ、行為地内の緑化面積 ^{※3} は行為地面積の3%以上とすること。緑化にあつては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、良好な周辺景観との調和を図ること。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	<input checked="" type="checkbox"/> 道路に面する部分の緑化 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化面積は行為地面積の3%以上確保 ・ 周囲の田園風景に配慮して敷地内に高木を多く植樹して緑化面積を5%とした。 ・ 利用者にやさしい沿道空間形成のため、隣接地と連続した高木の植樹、足元の花壇設置を計画した。	適・否
	2・住宅地にあつては、周辺の樹木と調和のとれた生垣や樹木とするよう配慮すること。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・ 道路側境界に生垣を用い、樹種は周辺住宅で多く使用されているクチナシを用いて周辺との調和に配慮した。	適・否

屋根の形状だけでなく勾配も配慮する

光源等を使用する場合は、面積と共にその位置も配慮する

緑化面積は原則、行為地の3%以上を確保

※ 「適用」欄は、当該基準の適用の必要性の有無について記載して下さい。「適・否」欄は、記載不要です。

「具体的な配慮又は工夫の内容」欄は、枠内に収まらない場合は別紙若しくは図面に記載して下さい。

※1 主要な視点場とは、「まほろば眺望スポット百選」等に定められたもの、奈良景観資産に登録されたもののうち眺望に関わるもの。

※2 建築設備とは、建築基準法第2条第3号に規定する建築設備をいう。ただし、煙突及び避雷針は除く。

※3 緑化面積とは、廃止前の奈良県風致地区条例施行規則第5条第1項の規定の例により算定した植栽面積をいう。(「奈良県景観計画に基づく届出の手引き」P18 参照)

景観法届出のチェックシート
【一般区域・広域幹線沿道区域】

[工作物]

届出者の氏名	〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇			
行為の場所	〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地			
周辺景観の特性	(建築物の記入例参照)			
項目	基準	適用	具体的な配慮又は工夫の内容	※適・否
共通事項	1・景観上重要な山々や丘陵、歴史的な遺産等に対する主要な視点場 ^{*1} からの眺望に配慮すること。	有 ・ 無	・〇〇から直接望見できる部分を少なくするため配置に工夫した。 また、目立たなくするため色彩に配慮するとともに高木の植樹を施した。	適・否
	2・地域の個性を尊重し、地域の景観に与える違和感や雑然さを軽減するよう努め、地域全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有 ・ 無	・周辺の里山との違和感を少なくするため色彩の彩度を抑えるとともに、敷地周囲の〇〇(郷土種)による緑化をできる限り行った。	適・否
	3・行為地内に複数の建築物、工作物等を設ける場合は、全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有 ・ 無	・付属の工作物も含め、基調色を揃えた上、安全性確保、識別性向上のためのアクセント色を統一的使用した。	適・否
配置、規模及び高さ	1・良好な周辺景観との調和に配慮した配置、規模及び高さとする。	有 ・ 無	・周辺への圧迫感を緩和するため、工作物を敷地中央に配置し、配管の突出する部分をなくし、高さを抑えた。	適・否
	2・山稜の近傍にあっては、稜線を乱さないよう配慮した配置及び高さとする。	有 ・ 無	・稜線に配慮して、工作物の高さを抑えるとともに屋根から下がった位置に配置した。	適・否
	3・原則として、道路の境界線から1m以上後退した配置とする。	有 ・ 無	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の境界線から1m以上後退 ← ・道路面から3m後退してプラントを配置し、間に塀と植樹帯を設置した。	適・否
	4・行為地の周辺に山林等樹木が多くある場合は、周辺の樹木の高さに配慮した高さとする。	有 ・ 無	・隣接するクヌギ林に配慮して、工作物の高さを低く抑えた。 ・やむを得ず、望見される部分はシンプルなデザインで色彩に配慮した。	適・否
	5・行為地内に歴史的な遺構や良好な樹木等がある場合は、これをできる限り保全し、活用すること。	有 ・ 無	・敷地内の古木を残せるように工作物の設置位置を計画した。	適・否

基準の適用が必要な場合は「有」に、適用が必要でない場合は「無」に○をする

後退距離は原則、1m以上

形態及び 意匠	1・良好な周辺景観との調和に配慮した形態及び意匠とするとともに、全体的にバランスのとれた形態及び意匠とすること。	有 無	・工作物の上部の突出物を抑える設計として、景観に配慮した。	適・否
	2・道路等の公共の場所に面する部分は、歩行者等に圧迫感、威圧感を感じさせないよう配慮した形態及び意匠とすること。	有 無	・道路側から3m後退した配置計画とした上、上層部ほどセットバックさせた。	適・否
	3・外観に光源等の装飾を施す場合は、使用する位置や量等に配慮すること。 商業地域以外の地域にあっては、その光源等が形成する面積が、外観のうち各立面につき、当該立面の面積の5分の1を超えないこと。	有 無	□商業地域 (使用する位置や量等に配慮) ☑商業地域以外の地域 (光源面積は、各立面の面積の1/5以下) ・光源位置を極力下部に配置して、近隣景観に配慮した。	適・否
色彩	1・色彩は、別に定める色彩に関する景観形成の基準に適合するとともに、良好な周辺景観との調和に配慮すること。	有 無	☑色彩に関する景観形成の基準に適合 ・周辺の集落になじむ茶系で彩度の抑えた色彩とした。	適・否
	2・多くの色彩やアクセント色を使用する場合は、使用する色彩相互の調和、使用する量のバランスに配慮すること。	有 無	☑強調色は各立面の面積の1/5(1/10)以下 ☑建築物等の中低層部で用いるよう配慮 ・強調色を1/20に抑えた外観とした。 ・コーポレートカラーを全体に使用せず、ライン状のアクセントとした。	適・否
素材	1・良好な周辺景観との調和に配慮した素材を使用し、特に反射光のある素材を使用する場合は使用する位置や量等に配慮すること。	有 無	・亜鉛メッキ部分に塗装を施し、光沢のある素材が露出しないよう配慮した設計とした。	適・否
緑化	1・行為地が道路に面する部分は、出入口、門、塀等を設置する部分を除き、樹木等により緑化し、かつ、行為地内の緑化面積※2は行為地面積の3%以上とすること。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、良好な周辺景観との調和を図ること。	有 無	☑緑化面積は行為地面積の3%以上確保 ・工作物の周辺と道路境界沿いに高木を植えて周辺景観に配慮した。 また、樹種は、近隣の河川沿いに多く見られる桜を使用した。	適・否
	2・住宅地にあっては、周辺の樹木と調和のとれた生垣や樹木とするよう配慮すること。	有 無	・道路側の境界は、近隣に多く見られるサザンカの生垣とした。	適・否

光源等を使用する場合は、面積と共にその位置も配慮する

緑化面積は原則、行為地の3%以上確保

※ 「適用」欄は、当該基準の適用の必要性の有無について記載して下さい。「適・否」欄は、記載不要です。

「具体的な配慮又は工夫の内容」欄は、枠内に収まらない場合は別紙若しくは図面に記載して下さい。

※1 主要な視点場とは、「まほろば眺望スポット百選」等に定められたもの、奈良景観資産に登録されたもののうち眺望に関わるもの。

※2 緑化面積とは、廃止前の奈良県風致地区条例施行規則第5条第1項の規定の例により算定した植栽面積をいう。(「奈良県景観計画に基づく届出の手引き」P18 参照)